

# 第 4 章

課題・方向性および  
基本理念・将来都市構造



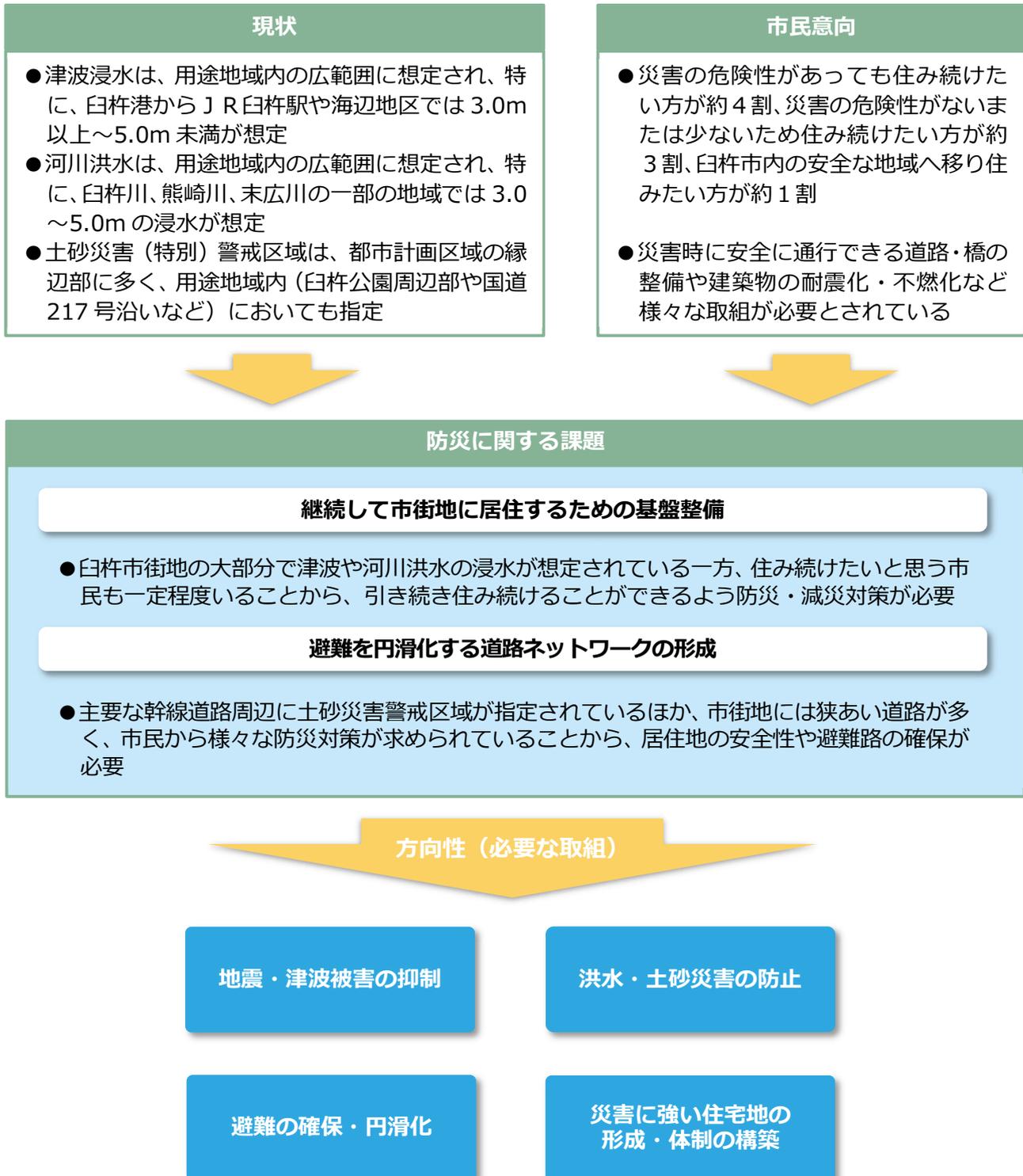
USUKI CITY



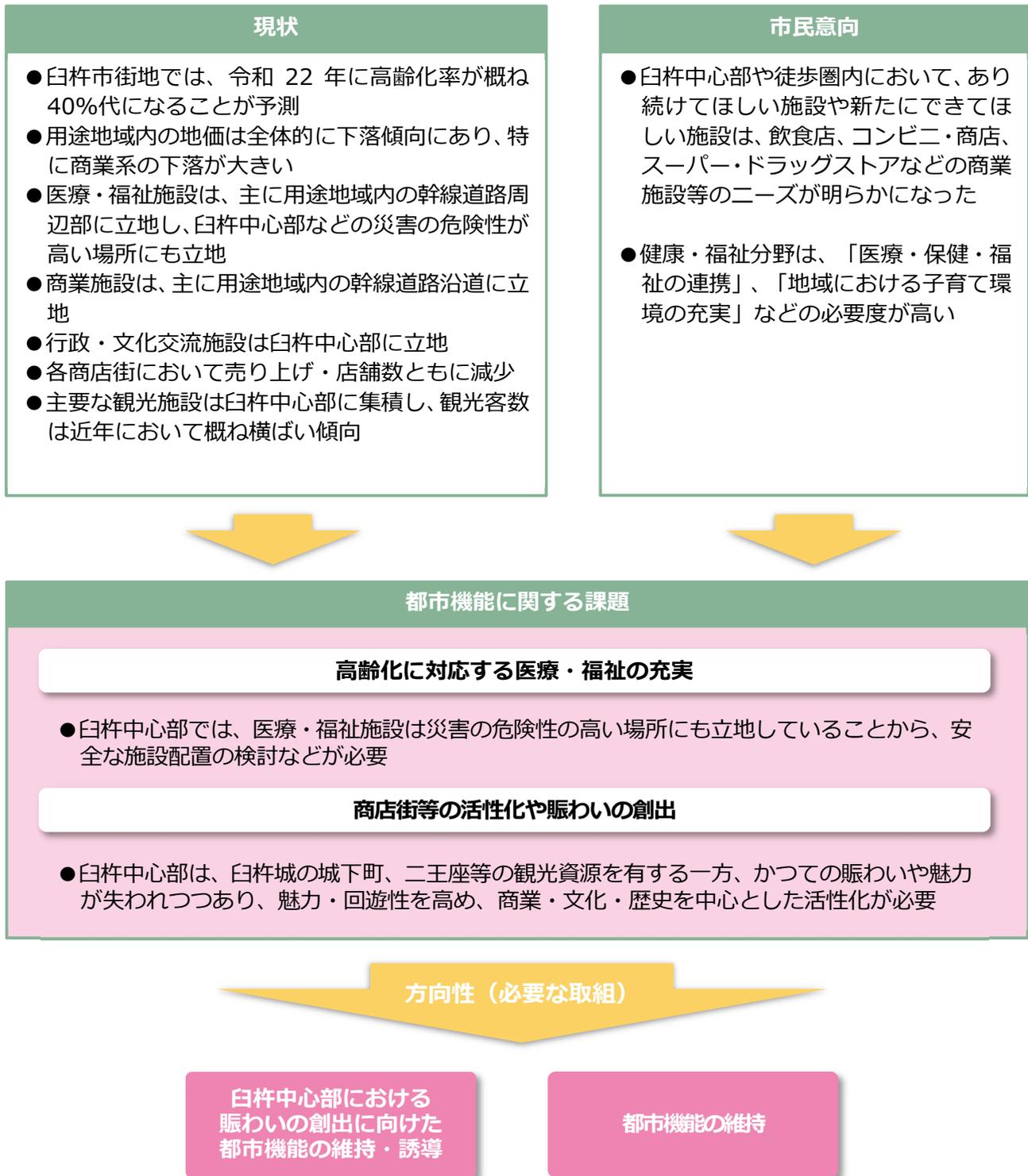
## (2) 現状・市民意向を踏まえた課題・方向性

本計画では、臼杵市の現状・問題や市民アンケート等による住民意向を把握した上で、「防災」、「都市機能」、「居住地」、「ネットワーク」の4つの分野にて整理を行います。

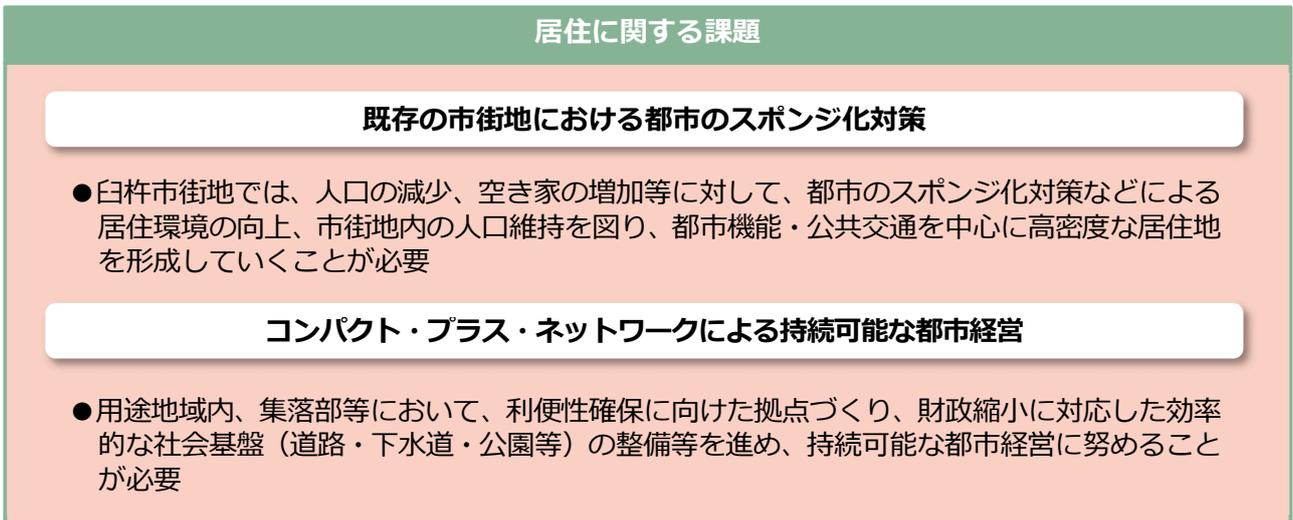
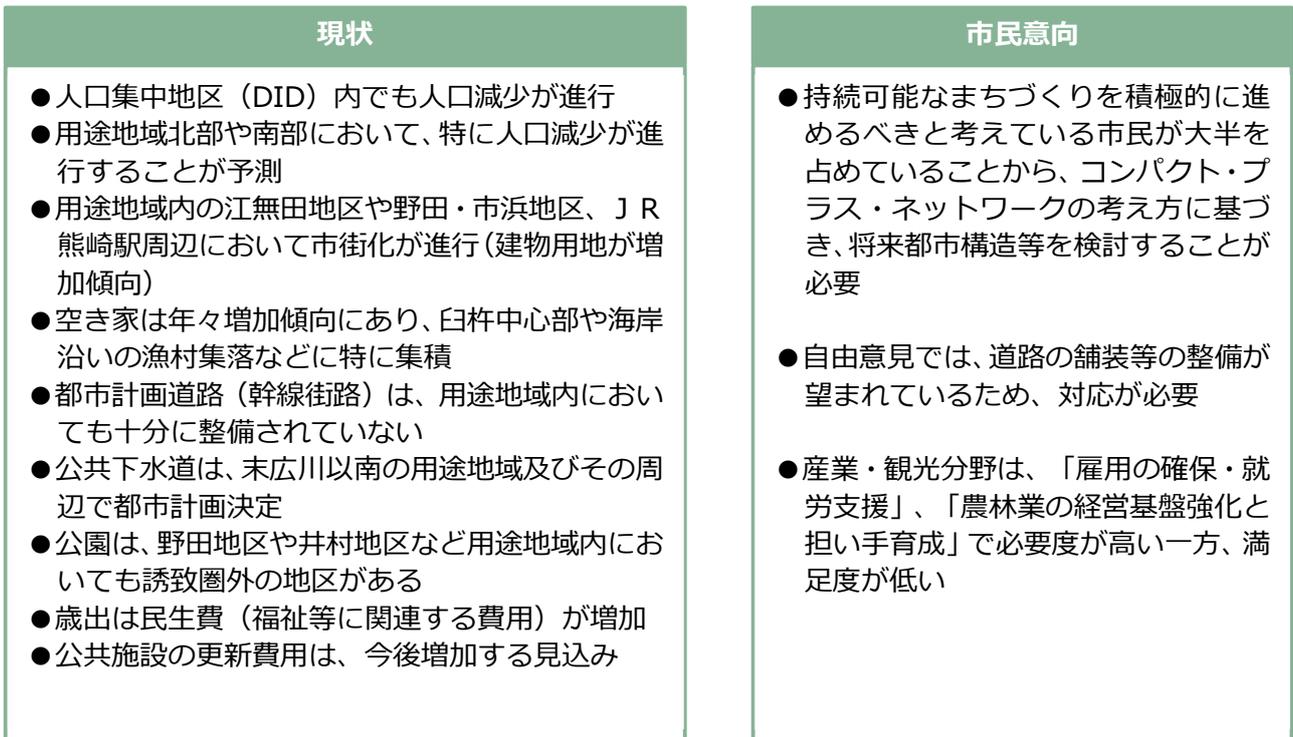
### ■ 防災の課題・方向性(必要な取組)



■ 都市機能の課題・方向性(必要な取組)



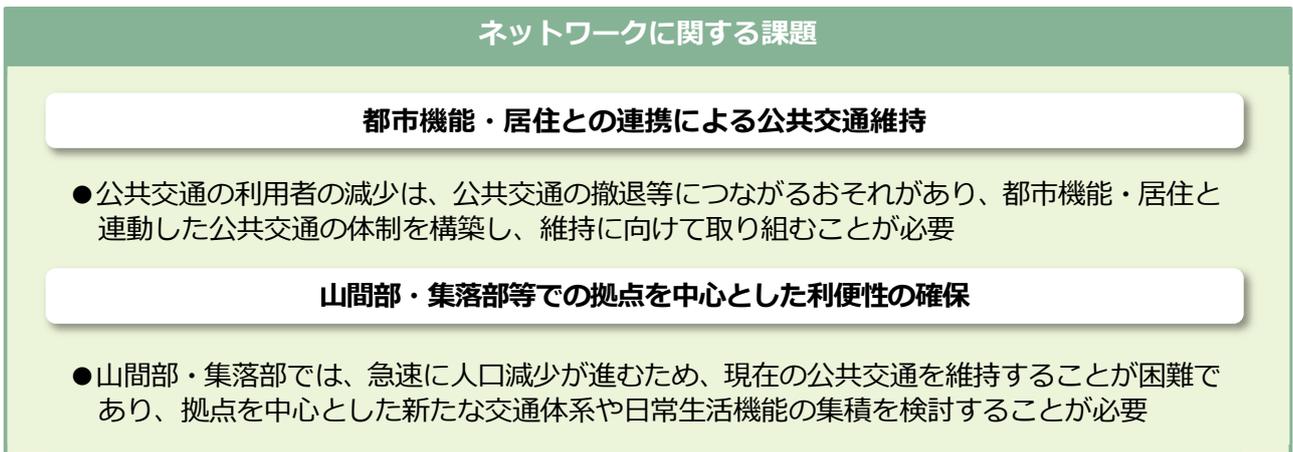
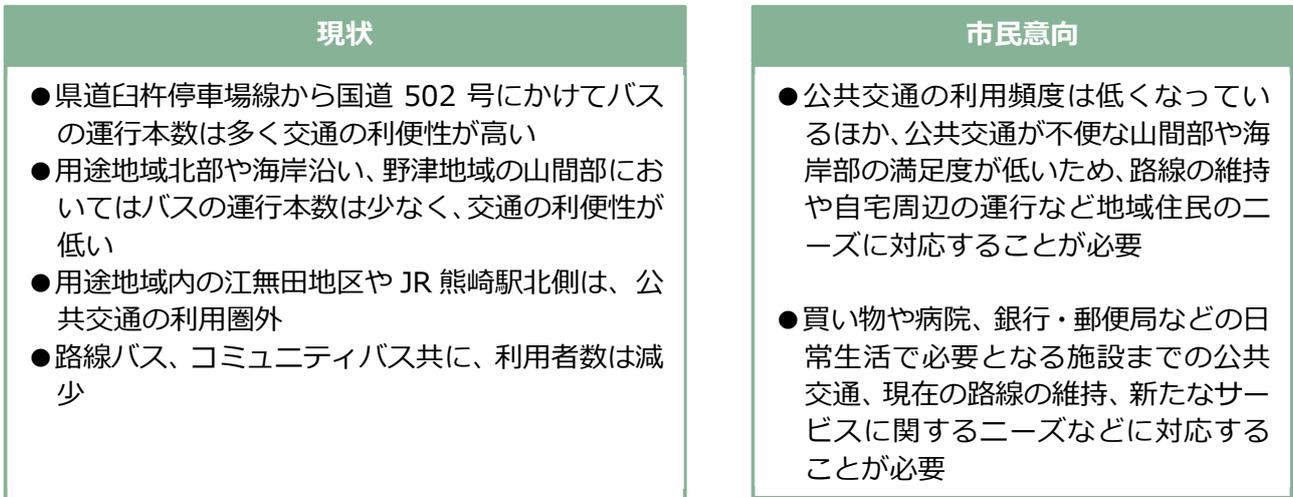
■ 居住の課題・方向性(必要な取組)



**人口維持に向けた  
定住促進・居住の確保**

**首都圏からの  
UIJ ターン促進と  
働く場の創出**

■ ネットワークの課題・方向性(必要な取組)



## 2 コンパクト・プラス・ネットワークに向けた基本理念

本市の現状・課題や都市計画マスタープランの基本理念を踏まえ、居心地の良さを実感できる都市づくりを目指すため、「都市機能・ネットワークの利便性・快適性」、「市街地における安全な居住」を同時に実現していくこととし、基本理念を以下に定めます。

防災に関しては、本市は市域の多くで災害の危険性を有しており、全ての地域でハード整備を行うことが困難です。そのため市民ニーズに対応したハード整備を進めるとともに、避難体制の確立などの様々なソフト対策で補完することとします。



### コンパクト・プラス・ネットワークに向けた基本理念

**都市機能・公共交通の集約化と回遊、  
市民ニーズを踏まえた防災対策による  
快適で安全な市街地づくり**



### 3 将来都市構造

#### (1) コンパクト・プラス・ネットワークにおける将来都市構造の考え方

課題・方向性・基本理念を踏まえた防災、都市機能、居住、ネットワークのあり方を示すため、具体的な将来都市構造を定めます。

なお、地域コミュニティや公共交通のあり方を検討するとともに、都市全体でまちづくりを推進する必要があることから、都市計画区域外の野津地域や海岸部、山間部、農村部等も含めた将来都市構造を位置づけます。

##### ◇ 防災

○土砂災害などによる山間部・集落部等の孤立化の抑止に向け、緊急輸送道路を中心に、都市間ネットワーク軸・地域間ネットワーク軸を確保します。

##### ◇ 都市機能

○都市機能誘導区域は、臼杵中心部、国道217号沿道、国道502号沿道、JR熊崎駅周辺に設定します。

○これらの都市機能誘導区域、また野津市街地では、将来を見据えた人口減少や少子高齢化に対応するため、商業・医療・福祉等における施設の維持・誘導により集約化を図ります。

○人口減少に歯止めをかけ、地域コミュニティを維持するため、地域生活拠点において、日常生活に必要な商店や診療所等の都市機能の集積を目指します。また、地域生活拠点周辺の自然や観光資源の活用を図りながらまちづくりを展開します。

##### ◇ 居住

○市街地居住促進区域は、都市機能誘導区域を中心とし、その周辺部に設定します。

○今後、人口減少が進行するなかで、人口密度を維持し、持続可能な都市経営を目指します。

○市街地の大部分において災害リスクが高いことから、居住地の安全性を高め、継続して住み続けられるよう、津波・洪水・土砂災害等の防災・減災対策の充実を図ります。

##### ◇ ネットワーク(地域)

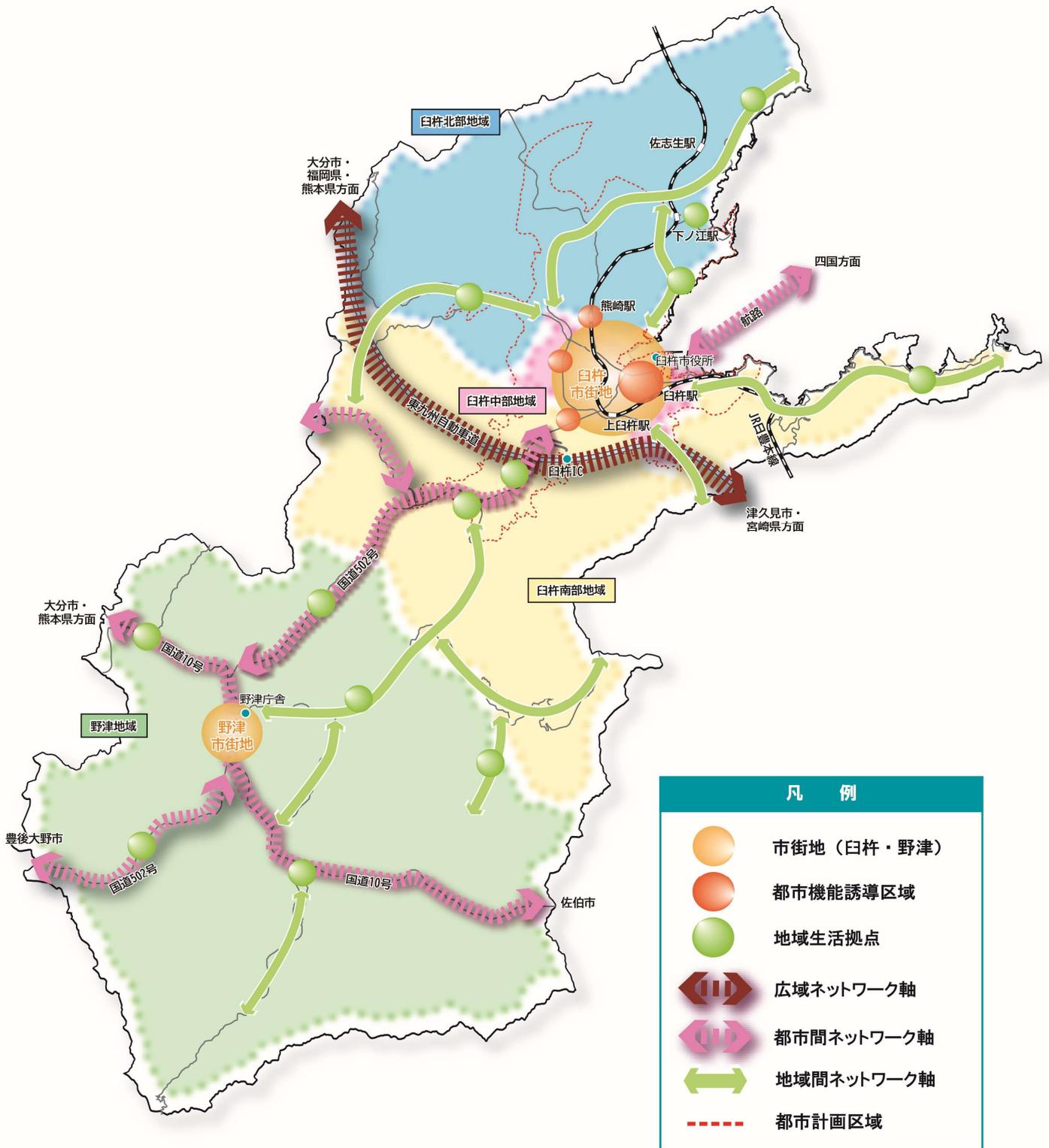
○都市間ネットワーク軸・地域間ネットワーク軸は、公共交通等によって、都市機能誘導区域や各拠点到容易にアクセスできるよう目指します。

○4つの都市機能誘導区域間における公共交通の連携強化と臼杵市街地内の循環により、市街地の利便性強化を図ります。

○山間部、集落部等では、デマンド型の公共交通等を検討するなど、学生や高齢者など自動車を保有していない方でも都市機能誘導区域や地域生活拠点到容易に移動できる公共交通ネットワークや仕組み等を検討します。

## (2) 将来都市構造

前項までの検討結果から、本市のコンパクト・プラス・ネットワークのあり方を示す将来都市構造を、以下に定めます。



0km 5km 10km